

「十七字のふれあい事業」で表彰



菅谷小学校3年の鈴木大晴君、母親の末佐子さん親子が、県教育委員会主催の平成24年度「十七字のふれあい事業」で応募総数36,037組の中から最優秀賞を受賞しました。表彰式は1月19日、県自治会館で行われました。受賞報告には鈴木さん親子と松崎菅谷小学校長が訪れ、助川教育長に喜びを話しました。受賞作品は次のとおりです。

- 大晴君
「母さんの えがお見たくて フロそうじ」
- 末佐子さん
「走り寄る 息子の頭に 泡ひとつ」

当たっても痛くないスポーツ



布素材の円盤でドッジボールを行う「ドッジビー」の第2回田村市スポーツ少年団交流大会が1月26日、市総合体育館で開かれました。大会には20チーム、団員約300人が参加しました。

各コートでは、内外野の巧みなパス回しで相手メンバーを射止めるなど好プレーが繰り広げられました。●優勝…関本ソフトボールスポーツ少年団(写真左)●準優勝…西向アトムズスポーツ少年団Aチーム(写真右)●第3位…ふねひきミニバスケットボールクラブスポーツ少年団

スポーツの優良団員を表彰



大越支部のスポーツ少年団優良団員奨励式が1月27日、大越体育館で開かれ、団員と指導者、保護者の約79人が出席しました。今年度、各スポーツ少年団で活躍した団員が表彰され、式終了後は運動適性テストや、もちつき大会も行われ、全員が新年度活動のレベルアップに意欲を高めていました。

《優良団員賞》●剣道…猪狩志織(大越小6年)●ソフトボール…渡辺航、冨塚健太(大越小6年)、石井健介、久保田好誠(大越小5年)《奨励賞》●剣道…冨塚崇(大越小3年)敬称略

自慢の民謡民舞で交流



船引町民謡民舞の会連絡協議会の新春交歓会が、1月27日に船引町総合福祉センターで開かれました。24団体96人の皆さんが彩り鮮やかな衣装を身にまとい、華麗な踊りや見事な演奏、日ごろ鍛えた自慢ののどを披露しました。

新春にふさわしいにぎやかなステージに、参加者からは盛んな拍手と熱い声援が送られ、会場は熱気にあふれていました。

「福島・常葉会」が総会を開催



「福島・常葉会」の総会が2月3日、土湯温泉の向瀧温泉で開かれ、会員や来賓約20人が出席しました。白岩会長のあいさつ、来賓祝辞の後、新年度の事業計画と予算などを決めました。懇親会では、古里の思い出話に浸りながら会員相互の交流を深めました。また席上、昨秋に瑞宝双光章を受章した渡辺浩さん(山根出身)に花束が贈られました。

カラフルな飾りが心いやす



小正月の年中行事「団子さし」が2月2日、約30人の子どもたちが参加して行われました。

参加者は会場となった市歴史民俗資料館で、船引町磐青さざなみボランティア会、船引町生活研究グループ協議会の指導を受けながら、みずの木の枝に色とりどりの団子をさし、大判や米俵を模した縁起物の飾りをつり下げました。完成後は、全員で出来たての団子を食べ、豊穡と繁栄を祈る伝統行事を楽しみました。